

## テーマ

# 「農地利用状況調査及び空き家付農地の下限面積の設定について」

雲南市農業委員会

## 活動内容

雲南市農業委員会では、10月～11月に農地パトロール月間として農地の利用状況、荒廃農地調査及び無断転用農地調査を実施した。農地パトロールの前には、事務局（6総合センター職員、本庁農林振興課職員、農業委員会職員）の打ち合せ及び農地パトロール推進会議（農業委員と事務局）を開



催し、調査体制、調査方法の確認を行い町ごとの班編成により複数で調査にあたった。その後、地域農業対策委員会で総括を行った。

また、この調査結果をもとに耕作放棄地の解消と発生の未然防止に役立て、農地の保全及び有効利用を図るため、平成24年11月に農地取得に係る下限面積の見直し（20a, 30aに改正）を行った。併せて、「空き家付農地」については遊休農地であることを条件に1筆ごとの指定として設定面積を1aとした。

## 取り組み結果

「空き家付農地」に係る下限面積の見直し以降、4件の取得があった。このうち2件は市外からであり、今後この制度を積極的に情報発信しながら、耕作放棄地の解消及び定住促進につなげていきたいと考えている。

## 会長コメント

農地利用状況調査は、大変な作業ではあるが、優良農地の確保、あらゆる農業施策を実施するためには、重要な情報、業務である。

農地基本台帳等が法定化され、今後はさらなる調査精度の向上を目指したい。

# テーマ 「 農業振興施策に関する建議書の取り組み 」

雲南市農業委員会

## 活動内容

合併以来毎年、農業者や地域の農業の立場にたって、農政の方向付けや施策への反映のため、市長に対し建議書を提出している。平成25年度は、26年度予算編成前の11月8日に建議書を提出した。農業振興施策の拡充、支援、特に雲南市の農業の将来展望について、限界集落への対応についても提言した。また、和牛振興の対策、耕作放棄地解消対策や有害鳥獣被害対策の推進について建議し、農業、農村の持続的な維持・発展を要望した。



ー昨年には、「認定農業者ステップアップ事業」や「雲南市担い手農家集積事業」の助成制度が新設された。これまでも「雲南市就農サポート事業」の新設、鳥獣進入防護柵等の無償貸与や有害鳥獣駆除・捕獲従事者の対応等の改善につながった。

## 取り組み結果

平成25年度の建議では、担い手農家を対象とした(一同に会した)研修会の開催を要望し、3月に認定農業者、農業法人、集落営農組織等を対象に研修会が開催された。また、中山間地農業振興策について国に提言を行う会議開催の回答があった。(7月に「ルーラルミーティングinしまね」開催予定)

## 会長コメント

各農業委員の意見に加え、市内で農業振興に尽力していらっしゃる農業生産法人の皆様の意見も取り入れ、建議書を作成した。

農業従事者の高齢化、耕作放棄地の拡大・増加、農業政策の転換など農業を取りまく状況は依然として厳しいですが、雲南市の農業が振興・発展するよう今後とも建議活動を行うことが重要と考える。